

は**カテゴリ-5**のUTPケーブル(ストレートタイプ)を使用してください。

○ 起動と停止

電源コードのプラグを電源コンセントに差し込むと、起動します。
電源プラグをはずすと停止します。



図2 電源コードの接続

○ 通信モード

IEEE 802.3u規格のオートネゴシエーション機能をサポートしていない機器と本製品を接続する場合は、**必ず接続先の機器の通信モードをHalf Duplexに設定してください。**

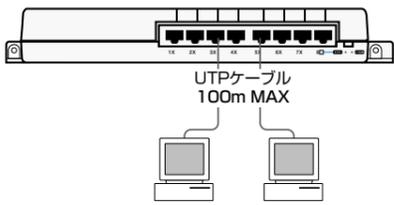
○ 接続手順

- 本体前面の10BASE-T/100BASE-TXポートにUTPケーブルを接続します。
- ネットワークに接続する端末に、10BASE-T/100BASE-TXネットワーク・インターフェースカードが正しく取り付けられていることを確認して、UTPケーブルの另一端を端末のネットワーク・インターフェースカードに接続します。
- 電源プラグをコンセントに差し込みます。
- 本体前面のPOWER LEDが点灯することを確認します。UTPケーブルの接続が正しく行われていれば、接続したポートのLINK LEDが点灯します。

スタンドアローン

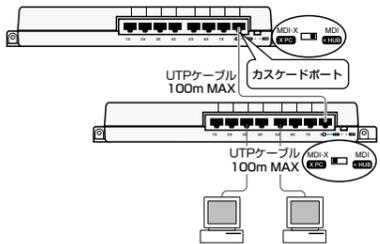
本製品は単純なスタンドアローンの環境で使用できます。本製品と端末間のUTPケーブルの長さは**100m**以内してください。

端末Aと端末Bは、ブリッジ機能によって相互に通信を行うことができます。また、10BASE-Tと100BASE-TXはそれぞれ独立したコリジョンドメインを構成します。



カスケード接続

カスケードポートを使用すると、ケーブルを変更することなく簡単にカスケード接続をすることができます。



○ 接続手順

- 本体前面のカスケード切替スイッチを右側の=HUBにします。
- 本製品のカスケードポート(ポート8)にUTPケーブ

ル(ストレートタイプ)を接続します。

- UTPケーブル(ストレートタイプ)のもう一方の端を接続機器の通常の10BASE-T/100BASE-TXポートに接続します。

○ ケーブル長

他のリピーターの10BASE-Tポートと接続する場合
→ UTPケーブルは、100m以内

他のリピーターの100BASE-TXポートと接続する場合

→ UTPケーブルは5m以内(カスケード接続ができるのは、クラスIIリピーターのみです。)

他のスイッチ、ブリッジ、ルーターなどと接続する場合

→ UTPケーブルは、100m以内

本製品同士を接続する場合

→ UTPケーブルは5m以内(本製品は、オートネゴシエーションによって100Mbpsで接続され、クラスIIリピーターとして機能します。)

トラブルシューティング

「通信できない」とか「故障かな?」と思われる前に、次のことを確認してください。

○ POWER LEDは点灯していますか?

PWR LEDが点灯していない場合は、電源ケーブルのコードに断線がないか、電源プラグが正しく接続されているか、正しい電源電圧のコンセントを使用しているかなどを確認してください。

○ LINK LEDは点灯していますか?

LINK LEDは接続先機器と正しく接続されている場合に点灯します。
点灯しない場合、以下のことを確認してください。

- 接続先機器に電源が入っているか確認してください。また、端末に取り付けられているネットワークインターフェースカードに障害がないか、ネットワークインターフェースカードに正しくケーブルが接続され、通信可能な状態にあるかなどを確認してください。

- UTPケーブルが正しく接続されているか、正しいUTPケーブルを使用しているか、UTPケーブルが断線していないかなどを確認してください。また、ケーブルの長さが制限を越えていないか確認してください。2つのネットワーク機器の直接リンクを形成するUTPケーブルは最長100mと規定されています(ただし、100MbpsのクラスIIのリピーターをカスケード接続する場合のリピーター間は5m以内としてください)。

- 接続先装置のカスケード切替スイッチの設定を確認してください。ストレートケーブルを使用しスイッチ同士をカスケード接続している場合は、接続先機器のカスケードポートは「MDI(To HUB)」に設定しなければなりません。

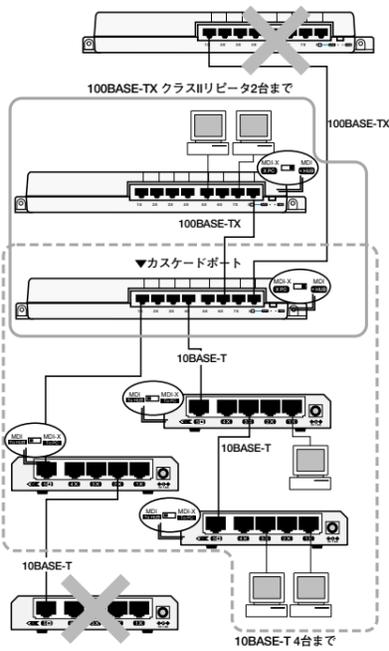
- 特定のポートが故障している可能性もあります。ケーブルを別のポートに差し替えて、正常に動作するか確認してください。

- UTPケーブルに問題はありますか?ケーブルの不良は外観からは判断しにくい(断線は良いが特性が悪い場合など)、他のケーブルに交換して試してみてください。

○ HUBの接続段数は正しいですか?

- リピーター(=HUB)の数が制限を越えていないか確認してください。
- イーサネット(10Mbps)の場合、カスケードできるリピーターの数、最大4台までとされています。
- ファーストイーサネット(100Mbps)の場合、クラス

IIのリピーターは、1つのコリジョンドメイン内で2台までをカスケード接続することができます。その場合、リピーター間のケーブルの長さは5m以内としてください。クラスIのリピーターはカスケード接続することができません。



推奨ケーブル

- 10BASE-T/100BASE-TXケーブル
ストレート結線のUTPケーブル(Unshielded Twisted Pair Cable =シールドなしツイストペアケーブル)を使用してください。
- 10BASE-Tの場合はカテゴリ-3以上のUTPケーブル、100BASE-TXの場合はカテゴリ-5のUTPケーブルを使用してください。

製品仕様

- サポート規格
IEEE802.3 /IEEE802.3u 100BASE-TX classII repeater

- 電源部
定格入力電圧: AC100-120V
入力電圧範囲: AC90 ~ 132V
定格周波数: 50/60Hz
平均消費電力: 4W(最大6W)
平均発熱量: 3.5kcal/h(最大5.2kcal/h)
最大入力電流: 0.3A

- 環境条件
保管時温度: -20 ~ 60°C
保管時湿度: 95%以下
(ただし、結露なきこと)
動作時温度: 0 ~ 40°C
動作時湿度: 80%以下
(ただし、結露なきこと)

- 外形寸法(突起部含まず): 234(W)x67(D)x35(H)mm
- 重量: 500g
- MACアドレス登録数: 2000個
- アドレス保持時間: 300秒
- 適用規格
EMI規格: VCCIクラスA
安全規格: UL1950

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

保証

製品に添付されている「製品保証書」の「製品保証規定」をお読みなり、「お客さまインフォメーション登録カード」に必要な事項を記入して、当社「お客さまインフォメーション登録係」までご返送ください。「お客さまインフォメーション登録カード」が返送されていない場合、修理や障害発生時のサポートなどが受けられません。

○ 保証の制限

本製品の使用または使用不能によって生じたいかなる損害(人の生命・身体に対する被害、事業の中断、事業情報の損失またはその他の金銭的損害を含み、またこれらに限定されない)については、弊社はその責をいっさい負わないこととします。

ユーザーサポート

障害回避などのユーザーサポートは、右の「調査依頼書」をコピーしたものに必要事項をご記入の上、下記のサポート先にFAXしてください。

電話による直接の問い合わせはなるべくご遠慮ください。FAXで詳細な情報をお知らせいただくと、電話によるお問い合わせよりも、より早く問題を解決することができます。記入内容の詳細は、「調査依頼書のご記入にあたって」をご覧ください。

○ アライドテレシス サポートセンター

Tel: 0120-860-772

月～金(祝・祭日を除く) 9:00 ~ 12:00
13:00 ~ 18:00

土(祝・祭日を除く) 10:00 ~ 17:00

Fax: 0120-860-662

年中無休 24時間受け付け



安全のために

必ずお守りください



警告

下記の注意事項を守らないと火災・感電により、死亡や大けがの原因となります。

分解や改造をしない

本製品は、取扱説明書に記載のない分解や改造はしないでください。火災や感電、けがの原因となります。



分解禁止

雷のときはケーブル類・機器類にさわらない

感電の原因となります。



雷のときはさわらない

異物は入れない 水は禁物

火災や感電の恐れがあります。水や異物を入れないように注意してください。万一水や異物が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。



異物厳禁

表示以外の電圧では使用しない

火災や感電の原因となります。本製品はAC100-120Vで動作します。なお、本製品に付属の電源ケーブルは100V用ですのでご注意ください。



コンセントや配線器具の定格を超える

使用はしない
たご定線などで定格を超えると発熱による火災の原因となります。



調査依頼書のご記入にあたって

調査依頼書は、お客様の環境で発生した様々な障害の原因を突き止めるためにご記入いただくものです。迅速に障害の解決を行うためにも、弊社担当者が障害の発生した環境を理解できるよう、以下の点にそってご記入ください。記入用紙に書き切れない場合は、プリントアウトなどを別途添付してください。

使用しているハードウェアについて

- * 製品名、製品のシリアル番号(S/N)、製品リビジョンコード(Rev)を調査依頼書に記入してください。製品のシリアル番号、製品リビジョンコードは、製品の底面に貼付されているバーコードシールに記入されています。



お問い合わせ内容について

- * どのような症状が発生するのか、またそれはどのような状況で発生するのかをできる限り具体的に(再現できるように)記入してください。
- * エラーメッセージやエラーコードが表示される場合には、表示されるメッセージ内容のプリントアウトなどを添付してください。

ネットワーク構成について

- * ネットワークとの接続状況や、使用されているネットワーク機器がわかる簡単な図を添付してください。
- * 他社の製品をご使用の場合は、メーカー名、機種名、バージョンなどをご記入ください。

おことわり

- 本書は、アライドテレシス株式会社が作成したもので、すべての権利を弊社が保有しています。弊社に無断で本書の一部、または全部をコピー、または転載することを禁じます。
- 予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがありますがご了承ください。
- 改良のため製品の仕様を予告なく変更することがありますがご了承ください。
- 本製品の内容、またはその仕様により発生した損害については、いかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

Copyright © 2000 アライドテレシス株式会社

商標

CentreCOMは、アライドテレシス株式会社の登録商標です。

マニュアルバージョン

2000年 05月	Rev.A	初版
2000年 06月	Rev.B	改版
2000年 10月	Rev.C	改版

- ・ 振動の激しい場所
- ・ ほこりの多い場所や、ジュースを飲んだ場所(静電気障害の原因になります)
- ・ 腐食性ガスの発生する場所



- ・ 設置場所注意
設置場所注意
- ・ 取り扱いはいけない
落としたり、ぶつけたり、強いショックを与えないでください。

- ・ プラグを抜く
プラグを抜く

お手入れについて

清掃するときは電源を切った状態で誤動作の原因になります。

- ・ 機器は、乾いた柔らかい布で拭く
汚れがひどい場合は、柔らかい布に薄めた台所用洗剤(中性)をしみこませ、強く絞ったものでふき、乾いた柔らかい布で仕上げてください。
- ・ むらすな
中性洗剤使用
- ・ 強く絞る
使用

- ・ お手入れには次のものは使わないでください
・ 石油・みがき粉・シンナー・ベンジン・ワックス・熱湯・粉せっけん(化学ぞうきんをご使用のときは、その注意書に従ってください)

